

■麻酔科研修プログラム

1) 一般目標

術前訪問、術中管理、術後管理を理解し実践することで、生命維持や危機的状況に必須な手技、状況判断、知識を身に付ける。

2) 行動目標

1. 術前訪問を通じ、麻酔管理上の問題点を整理する。
2. 適切な麻酔計画を立てることができる。
3. 全身麻酔、局所麻酔における操作、手技の流れを理解し、実践することができる。
4. 術後呼吸 管理を理解する。

3) 研修方法

1. 術前訪問：患者のリスクを評価し、麻酔法を選択し、患者への説明を行う。
2. 術前カンファレンス：手術患者のリスク評価、麻酔計画などを指導医とともに検討する。
3. 麻酔導入・維持・覚醒：末梢ルート確保、気道確保等を実践する。麻酔をかける。
4. 術中全身状態の維持管理をおこなう。
5. 覚醒・抜管：術後の麻酔からの覚醒、抜管を実施する。抜管や帰室可能となる条件を学ぶ。
6. 指導医とともに術後回診を行い、術後の合併症を把握し、対処する
7. ペインクリニック外来見学：がん性疼痛や慢性痛についての理解、治療法について学ぶ。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価

麻酔科 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	カンファ 担当症例の 準備・手技	カンファ 担当症例の 準備・手技	カンファ 担当症例の 準備・手技	カンファ 担当症例の 準備・手技	カンファ 担当症例の 準備・手技
午後	担当症例の 準備・手技	担当症例の 準備・手技	担当症例の 準備・手技	担当症例の 準備・手技	担当症例の 準備・手技
	翌日の症例の 術前診察	翌日の症例の 術前診察	翌日の症例の 術前診察	翌日の症例の 術前診察	翌日の症例の 術前診察